



Amir Tsarfati

ウイークリー・ニュースレター

2021年1月8日～14日（日本時間 1/15 午前1時 配信）

「教会の集会」も「使い捨てレジ袋」も、大いなる知恵を両方とも禁止にした地、美しい 南カリフォルニアから、シャローム。

しかしここは、私が体験したこの7日間で、意外にも「一番クレイジーな場所ではない」というのが驚きです。ワシントンD.C.から、私の一週間は始まりましたが、カリフォルニアの方がまだ まとものように思える街です。

アメリカの首都での数日間は、奇妙で困難なものでした。マイク・ゴレイ牧師と私は、群衆の中を歩き、アメリカとその指導者を執り成す祈りに、多くの時間を費やしました。多くの皆さんが私たちの所に来て、挨拶して下さって とても嬉しかったです。ホワイトハウスの南側に立っていた私たちには、国会議事堂で何が起きようとしているのか、少しも感じませんでした。むしろ周りの人たちは平和的に愛国心を表現していました。雰囲気が変わるのを察知したマイク牧師と私は、トランプ大統領が演説する前にホテルの部屋に戻ることにして、そこからすべての展開を見たのです。

認めざるを得なかったのは、ワシントン D.C. を去るとき、私はとても喜んでいました。全体的に暗いムードで、ようやく街を飛び出した時には、自分が そこに置き去りにして来た「霊的な圧迫感」を感じることができました。

米国で起きたことをどうするか？ 信者として、私たちは どのように対応すべきでしょうか？ ヨセフの時代、神はエジプトに7年間の豊かさをお与えになりました。収穫は膨大で、誰もが その恵みを祝いました。神は祝福の後に 祝福を注がれました。その後、ひどい飢饉の7年間は来ました。しかし、その困難な時代にも、神は働いておられました。神は 飢饉との抗戦を用いて、ヨセフを家族と再会させ、イスラエルの子孫を、彼らの旅の「次のステップ」へと導いたのです。

もし私たちが、神がこの4年間（良い年「豊作の年」）を支配しておられると信じていたならば、私たちは神の主権が、困難な年「不作の年」にも耐え続けると信じる信仰を持たなければなりません。私たちの神は、すべての国と すべての指導者の上に君臨しておられます。神は、ご自身の目的の中で 揺らぐことも、変わることもありません。国の方向性に不満や失望を感じるかも知れませんが、主のご計画が実現されていることを 喜ぶことができます。困難な一日が過ぎる度、ちょうど、ヨセフが再び 地上の父の顔を見て祝ったように、私たちが ついに 救い主イエスの御顔を見る日に近づいているのです。（ヨハネ 14:9）何と素晴らしいお祝いの日になるでしょう！

ヨセフは 車を整え、父イスラエルを迎えるために ゴシェンへ上った。そして父に会うなり 父の首に抱きつき、その首にすがって泣き続けた。（創世記 46:29）

もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中であって、そのしもべたちは 神に仕え、神の御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には 神の名がついている。（黙示録 22：3-4）

中東について



Amir Tsarfati

ウイークリー・ニュースレター

2021年1月8日～14日（日本時間 1/15 午前1時 配信）

イランは、武力による威嚇を続けています。先週イランは、ペルシャ湾の近くに「地下ミサイル基地を持っている」と世界に公表しました。中東にいる すべての敵に、死と破壊の雨を降らせることができると言います。この基地は、彼らが国中に隠していると主張している 多くの基地の一つに過ぎません。

なぜ急に「自分たちが どれだけタフか見てくれ」というゲームになったのでしょうか？ それは、イランに対する現在の 軍事的、経済的、貿易的制裁を解除するという イランの要求に直接関係している可能性があります。1月21日に新大統領府が発足することを見越して、イランは先月、トランプ政権が 2015年の共同包括的行動計画（JCPOA）、つまり「イラン核取引」を破棄した際に、イランに対して実施された すべての制裁を解除するために、2月21日まで期間を米国に与える決議案を可決しました。この制裁の軟化が実現しなければ、イランは国連の核の番人である 国際原子力機関（IAEA）の代表を追放することになります。

バイデン政権は、イラン政府の要求通りに行動する可能性が高いです。国連からの圧力に屈するというのは、トランプ氏以前の ほとんどの大統領の手口であり、アメリカが以前のグローバリズムに戻ることは十分にあり得ます。IAEAは、イランの「核開発プログラム」の監視を 維持するためには、制裁を あきらめる価値があると言うでしょう。しかし、現実を直視しましょう。イランは初日から、協定の条件に違反しているのです。IAEAは、カリフォルニア州の「番犬組織の 紙ストロー」であり、本質的には役に立ちません。

イスラエル北部にお住まいの方は、昨日、多くの戦闘機が頭上を飛ぶ音を聞いたことでしょう。イスラエル空軍は、シリア東部の ディル・アズール周辺の シリアとイランの標的を破壊しました。軍事本部から ロケットサイロ、地下トンネル、空港まで、破壊されるべき 全ての標的が破壊されました。戦闘機の照準はシリア人、アフガニスタン人、パキスタン人、さらには レバノンのヒズボラの戦闘機に合わせられていましたが、間違いなくこれは、イランに向けられたものです。地上にいるのは シーア派の代理です。なぜ今になって この大規模な攻撃を？ イスラエルは、次のバイデン政権で 絶好の機会が閉ざされるのを見ているのでしょうか。彼らがやるなら、今やるべきなのです。

トランプ氏が在任中である限り、米国はまだ見張っているぞ、というイランへの戒めとして、先週、2機の B-52H ストラトフォートレス爆撃機が、ペルシャ湾地域を横断して飛行しました。連帯の象徴として、サウジアラビア、バーレーン、カタールの航空機が 時折 参加しています。これは、12月中旬に 米軍とサウジ軍が行った 合同軍事演習に続くものです。「敵の敵は味方」という哲学は、米国とイスラエルの双方にとって、湾岸諸国との関係を密にするための多くの機会を切り開いています。

そして、イスラエルと言えば、我が国の選挙のドタバタ状態は、まだ続いています。11月のアメリカ大統領選挙が終わって辟易しているなら、2年という期間の中で、さらにあと3回 やってみてご覧なさい。2019年4月と、2019年9月の クネセット選挙で、新しい首相が決まらず、2020年3月に イスラエルは 11ヶ月間で3回目の選挙を行いました。この選挙も 行き詰まりの結果 となったとき、有力政党は必死の動きを見せました。国民から、政治家たちには打開策がないと悟られたと思った彼らは、国民統一政府を構想したのです。ベンジャミン・ネタニヤフ氏が、3年の任期の前半は首相を務め、ライバルのベニー・ガantz氏が 副首相を務めることになりました。その後、2021年10月に 2人は役割を交代します。いったい何が起こるのでしょうか...

そして先月、不可避なことが起こり、この政府の「砂上の楼閣」は 崩壊しました。今、選挙疲れした イス



Amir Tsarfati

ウィークリー・ニュースレター

2021年1月8日～14日（日本時間 1/15 午前1時 配信）

ラエルの人々の行く手には、3月に また選挙です。すでに汚職で起訴されている ネタニヤフ氏は、自分の党内で深刻な反発に直面しています。一方、ガンツ氏は 国民議会で議席を獲得できず、政府から完全に外される可能性があります。この混乱で唯一 ポジティブな点は、我々ユダヤ人が 文句を言うべきものが、また一つ増えたということです。

ミニストリーについて

先週の日曜日、私は バリー・スタグナー牧師が牧会する カルバリーチャペル・タスティンで、新しいメッセージ「ゴールラインに到達する」を発表しました。私たちの周りで 何が起きていても、クリスチャンとしての私たちは、イエス・キリストの栄光に目を向けて、上を向いているよう召されている という真理に、信徒は非常に良く応答し、励まされました。「兄弟たちよ。私は、自分は すでに捕らえたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて 上に召してくださる 神の栄冠を得るために、目標をみざして一心に走っているのです」（ピリピ 3:13-14）。私たちは、暗くなりつつある世界に キリストの光を照らす使命を担っています。世界が暗くなるにつれて、私たちの光は より明るく輝きます。

多くの保守的な声と同様に、私もまた、ビッグテックの検閲に直面しています。1月7日に（運営側による）追い出しが 始まって以来、私はツイッターで 22,000 人のフォロワーを失い、結果的に 自分から アカウントを削除しました。私が、ソーシャルメディアという巨大な存在から離れる機を得たことで、他のリーダーたちも 同じように行動する刺激になればと願っています。私は現在、ソーシャルメディアでの存在を維持するための、新しいプラットフォームを探しており、Telegram（テレグラム）を努めて使用しています。私は Telegram を 本当に楽しんでます。特に、文字での投稿に加えて、短い音声メッセージを録音できる点が、とても気に入っています。この新しいプラットフォームが拡大して、成長することを祈っています。私たちは、主流となっているすべてのソーシャルメディアの時代が終焉を迎えていることが分かっています。私たちが 新しい他のプラットフォームを追求する際の、知恵と方向性のためにお祈りください。

「ビホールド・イスラエル」ミニストリーと 連絡を取り合うには、この「ウィークリー・ニュースレター」をご登録ください。このリンクを、お友達や ご家族に送ることもできます。また、iPhone や Android のアプリを ダウンロードして、主が このミニストリーでなさっていることを知ることができます。私たちの願いは、信者の方には慰めを、未信者の方には 真実と希望をもたらすために、神の みことば を教え続けることです。

そのように、わたしの口から出る わたしのことばも、むなしく、わたしのところに帰っては来ない。必ず、わたしの望む事を成し遂げ、わたしの言い送った事を成功させる。（イザヤ 55:11）

私の新刊『イスラエルと教会』の予約注文をお忘れなく。2月に始まる購入予約では「ボーナスアイテム」が付きますので お楽しみに。すでに本を予約済みの方も「ボーナスアイテム」の対象となります。付属の「学習ガイド」は、ウェブストアでも購入いただけます。また ウェブストアでは、印刷が可能な PDF（英語）を収録した DVD を、無料で提供しております。



Amir Tsarfati

ウィークリー・ニュースレター

2021年1月8日～14日（日本時間 1/15 午前1時 配信）

カリフォルニアには、あと数日 滞在する予定です。昨夜は、カルバリーチャペル・チノヒルズで ジャック・ヒブス牧師と一緒に「ハプニング・ナウ」の講演をしました。今日から土曜日まで「イスラエルと教会」の オーディオブック の録音で、スタジオに入る予定です。「The Day Approaching（かの日が近づいている）」を録音する前は、「とても楽しそうだ！」と思ったのを覚えています。一見 華やかに見えるようでも、実際は プロデューサーに「発音を間違えていますね、もう一度 読んでみてください。もっと良いアクセントが必要だから、もう一度 読んでみて」と言われながら、マイクの前に座っているだけです。

アメリカを離れる時が来たら、私はドバイに飛び、初めてそこに滞在します。最近の湾岸地域では、イスラエル人にも渡航の門戸が開かれている現実には驚かされます。その間「中東アップデート」の取材をしたり、将来の執筆プロジェクトに向けた下調べをしたり、イスラエルのテレビ局のオンライン中継に出演したりする予定です。

今後の数ヶ月間、4月は ブラジル（詳細は後ほど）、5月には 南アフリカでの「Awaiting His Return（主の再臨を待ち望む）カンファレンス」ツアーに行くのを楽しみにしています。両方についてお祈りください。平常時でも旅行には十分に困難が伴いますが、COVID の期間中は ほぼ不可能に近い場合があります。神が今でも真理のために 心の準備を始めてくださるよう お祈りください。

最後に、皆さまの忠実なお祈りと、このミニストーリーへの財政的支援に感謝します。

このような激動の時代には、自分自身や 自らの窮状に目を向けるのは簡単です。しかし、それは 詐欺師の罠に陥っているだけです。詐欺師は、私たちが 恐れるのを望んでいます。恐れは、私たちの目を内側に向けさせますから。私たちは、恐れる必要はありません。ダビデが「主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう」（詩篇 27:1）と書いたように、私たちの救いと 主の強さのおかげで、私たちは目を外にすることができます。そうすれば、聖霊は、希望と平安と慰めを 絶望的に必要としている人々に キリストの光をもたらすため、私たちを用いてくださるのです。

私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神が ほめたたえられますように。神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができるのです。（第二コリント 1：3-4）

主の再臨を待ち望む、
アミール ツアルファティ

<https://mailchi.mp/beholdisrael/amirs-weekly-roundup-july-7-22-1006305>

<NEWS>

■イスラエル空軍、シリア東部で包括的な攻撃を実施
2021年1月13日



Amir Tsarfati

ウイークリー・ニュースレター

2021年1月8日～14日（日本時間 1/15 午前1時 配信）

イスラエル空軍は火曜日の夜、シリア東部で重要な一連の空爆を実施し、地域内の複数の軍事目標を標的とした。これは、今までで最大の包括的攻撃の一つであり、前例のない被害をもたらした。

■ポンペオ氏、イランとテロ集団アルカイダとの間に重要な結びつきがあると主張

2021年1月12日

トランプ政権がホワイトハウスから去るのを前にして、国務長官は イスラム共和国（イラン）と悪名高いテロ組織とのつながりに関する情報を公開した。

■IAEA、イラン核取引の即時回復を要求

2021年1月11日

国連の核監視委員会は、濃縮ウランが大幅に増加する中、各国に協定への復帰を求めている。また、イスラム共和国（イラン）は、2月までに制裁が解除されなければ、IAEAを追放すると脅している。

■米軍のB-52爆撃機、サウジ軍戦闘機に護衛されて湾岸地域へ

2021年1月9日

木曜日、ペルシャ湾に向かうB-52爆撃機 2機が、王立サウジアラビア空軍（RSAF）に属する戦闘機によって護衛された。航空機はイランとの軍事的対立が想定される地域に向かっている。

■ネタニヤフ氏、イラン核取引に戻る危険性を次期米政権に警告

2021年1月8日

バイデン政権がイラン核取引に復帰する意向を示す中、イスラエルのベンジャミン・ネタニヤフ首相は、イランの核問題を考慮して重大な警告を発した。

以下省略